

措置通報および措置入院の実態に関する研究

その2 (1)

精神科入院患者における他科との連携を要する医療の実態調査

研究分担者：瀬戸秀文（福岡県立精神医療センター大宰府病院）

研究協力者：稲垣 中（青山学院大学教育人間科学部／同保健管理センター）、小口芳世*（聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室）、小池純子（国立精神・神経医療研究センター）、椎名明大（千葉大学社会精神保健教育研究センター治療・社会復帰支援研究部門）、島田達洋（栃木県精神保健福祉センター）、中西清晃（国立精神・神経医療研究センター）

(* 論文執筆者)

【要旨】全国の精神科を標榜しているすべての病院について、精神科病院と総合病院精神科の種類別に、他科との協働を要する治療の実態や措置・非措置入院における身体合併症医療の実態を明らかにした。

【方法】2020年7月30日から2020年9月14日までを調査期間とし、COVID-19の体制整備や受け入れ状況を把握するために、全国の精神科に関わる医療機関の医師にwebアンケート調査を行い、248機関の回答を得た（回収率16.5%）。これらの医療機関を対象に他科との協働を要する精神科医療の現状、措置入院以外の患者ならびに措置入院患者の新合併症の対応状況に関するアンケート調査を行った。

【結果】他科との協働を要する精神科医療の調査では、ECTは修正型に拘わらず、精神科病院では6割強がECTを行っておらず、総合病院精神科では麻酔科との連携で行うECT例は7割であった一方、3割弱はそもそもECTを行っていなかった。クロザピンにおいては精神科病院はCPMS登録半数、実際に治療を行っているが半数、一方で総合病院精神科ではCPMS登録は6.5割の中、実際に行っているのは3.5割であった。緩和ケアチームは精神科病院ではほぼ設置しておらず、総合病院精神科ではほぼ設置されていた。措置以外の入院患者の調査では、精神科病院8割、総合病院精神科では全例受け入れていた。身体合併症が生じた時の対応において、精神科病床に入院継続して精神科医が対応した例では精神科病院9割・総合病院精神科で7.5割、他科医師が併診対応した例では精神科病院7.5割・総合病院精神科9割、他科受診例では精神科病院9割・総合病院精神科2.5割であった。自施設の他科病棟転棟例は精神科病院3割・総合病院精神科8割、他院転院例は精神科病院9.5割・総合病院精神科3割であった。身体合併症が生じ転院が必要と判断された場合の対応において、「総合病院等の連携は行っているが病床は確保されていない」と回答した精神科病院は8.5割に上った。COVID-19の発生状況においては精神科病院4割・総合病院精神科3.5割が「発生ないし他院から受入」と回答した。一方で、COVID-19受入対応準備に関しては、精神科病院は1割弱、総合病院精神科においても5割弱程度のみが準備できていると回答された。措置入院患者の調査では、精神科病院5割、総合病院精神科では6.5割受け入れていた。身体合併症が生じた時の対応において、措置のまま入院継続して精神科医が対応した例では精神科病院5割・

総合病院精神科で 6.5 割、措置のまま入院継続して他科医師が併診対応した例では精神科病院 7.5 割・総合病院精神科 9 割、措置のまま入院継続して他科受診例は精神科病院 2 割・総合病院精神科 1 割未満であった。措置入院のまま他院転院例は精神科病院 2 割・総合病院精神科 1 割未満であった。措置仮退院して他院転院は精神科病院 1 割・総合病院精神科 1 割未満であった。措置解除して自施設の他科病棟転棟例は精神科病院・総合病院精神科共に 1% 未満、措置解除・他院転院例は精神科病院 1.5 割・総合病院精神科 1 割未満であった。身体合併症が生じ転院が必要と判断された場合の対応において、「総合病院等の連携は行っているが病床は確保されていない」と回答した精神科病院は 6.5 割であった。

【結論】本調査は精神疾患患者において、身体合併症に関する医療連携を議論する際の重要な参考資料となり得る。

A. 研究の背景と目的

精神疾患を有している、とりわけ自傷他害のおそれのある措置入院例で身体合併症を伴う患者は実臨床で遭遇するケースが一定数いるが、措置入院という特性上、その処遇に迷うケースが少なからず存在する。しかし、その実態は未だ明らかになっていない。

今回、精神科を標榜しているすべての病院について、精神科病院と総合病院精神科の種類別に、他科との協働を要する治療の実態や措置・非措置入院における身体合併症医療の実態を明らかにすることを目的とした。

B. 方法

2020 年 7 月 30 日から 2020 年 9 月 14 日までを調査期間とし、措置入院者における身体合併症（COVID-19 含まず、COVID-19 に関しては 2020 年度の同報告書で報告を行った）、措置入院以外の患者の身体合併症（COVID-19 含む）の受入体制整備や受入状況を把握する目的で、全国の精神科に関わる医療機関の医師に Web アンケート調査（Google フォーム）を行った。アンケートは研究班の班員で慎重に議論を重ねて、厚生労働省からの意見や要望も取り入れながら、パイロットスタディを行い、feasibility を検証しながら作成した。調査対象機関は 1506 機関で、日本精神科病院協会 1195 機関、自治体病院協議会 139 機関、国立病院機構 30 機関、公立病院精神科協会 13 機関、大学病院 90 機

関、精神科を一般に開放している職域病院 5 機関、精神科救急入院料を算定する機関 168 機関という内訳で重複を除いた。宛先不明の 3 機関を除いた 1503 機関のうち、248 機関の回答を得た（回収率 16.5%）。

調査対象医療施設が単科精神科病院ならびに総合病院および単科・総合双方の特性を有する病院のどの属性に属しているかを明らかにした。

以下、設問を 4 つのパートに分けた。

① 他科との協働を要する精神科医療の現状

具体的には、病院の属性別に、電気けいれん療法（Electro convulsive therapy：以下、ECT）を行っているか否か、クロザリル患者モニタリングサービス（Clozaril Patient Monitoring Service：以下、CPMS）登録医療機関であるか否か、クロザピン治療を行っているか否か、緩和ケアチームを設置しているか否かを明らかにした。

② 措置入院以外の患者の身体合併症への対応状況

具体的には、病院の属性別に、身体合併症を有する精神疾患患者の入院の受け入れ要請時の対応（直近 1 年間を想定）、措置入院以外の精神疾患入院患者に身体合併症が生じた際（直近 1 年間を想定）に（a）精神病床に入院を継続して精神科医が対応した／精神病床に入院を継続して他科の医師が併診で対応した

／精神病床に入院を継続して通院で他科を受診した／貴施設の他科病棟に転棟した (b) 他院に転院したか否か (c) 貴施設において措置入院以外の精神疾患入院患者が身体合併症となり転院が必要な場合に現状貴施設がどのような状況にあるか (d) これまでに措置入院以外の精神疾患入院患者において COVID-19 陽性例あるいは疑似例が発生したか否か (e) 今後他院から COVID-19 受け入れ要請があったときに受け入れる準備ができているか否かに関して調査を行った。

③ 措置入院患者の身体合併症への対応状況

具体的には、病院の属性別に、(a) 身体合併症を有する精神疾患患者の入院の受け入れ要請時の対応 (直近 1 年間で想定)、(b) 措置入院患者に身体合併症が生じた際 (直近 1 年間で想定) に措置入院のまま貴施設で入院を継続し精神科医が対応した／措置入院のまま入院を継続し他科の医師が対応した／措置入院のまま入院を継続し通院で他科を受診した／措置入院のまま他院に転院した／措置入院を仮退院として他院一般病棟に転院した／措置解除し貴施設の他科病棟に転棟した (c) 措置解除し他院に転院したか否か、(d) さらに措置入院患者が身体合併症となり転院が必要と判断された場合、現状、貴施設はどのような状況にあるか、に関して調査した。

本調査を行うにあたり、回答者へ研究概要 (研究課題名、研究機関名ならびに研究責任者名の明記、研究期間、研究目的、研究方法)、研究協力の任意性と撤回の自由、個人情報の保護 (回答者に所属施設や属性を求めず、患者情報も収集しない事、情報の漏洩防止に配慮する) 研究結果の公表や開示の可能性、研究対象者にもたらされる利益 (不利益はなし)、研究終了後の資料等の取扱い (データの厳重管理とアンケートに使用する Google フォームを 2021 年 3 月 31 日をもって消去する事)、費用負担と謝金 (いずれもなし)、その他 (倫理申請、研究資金の出所、連絡先の開示) につ

いて Web 上で説明文書として公開し、同意を頂いた対象者にアンケート調査を行った。回答者は主に精神科医且つ医療機関の長や診療部長相当の職に準ずる方を想定した。

回答に際しては、択一選択肢ならびに複数回答可能の選択肢を付した質問を用意した。原則、すべての設問に回答頂く事を目標としたが、空白は無回答として、データを粗集計した。

なお、今回の調査は、「他科との協働を要する精神科治療例および措置入院 COVID-19 陽性／疑似例への対応実態調査」として、措置入院の COVID-19 例への対応実態調査に関しても併せて調査を行っている。

(倫理的配慮)

聖マリアンナ医科大学病院、福岡県立精神医療センター大宰府病院において付議不要の判断を受けた。

C.結果

本アンケートの回答の内訳は精神科病院が 188 施設、総合病院精神科が 60 施設の計 248 施設であった。また、措置入院を受け入れている医療機関の内訳は精神科病院が 159 施設、総合病院精神科が 43 施設であった。なお、精神科病院と総合病院精神科を分けた基準は、設問 17 における「貴施設は総合病院である」を選択した施設を総合病院精神科とした。

1. 他科との協働を要する精神科医療の現状

措置入院以外の患者を受け入れている施設を分析の対象とし、回答が得られた全ての施設 (N=248) が該当した。

1) 電気けいれん療法の施行状況 (表 1)

精神科病院と総合病院精神科の合計 248 施設のうち、「電気けいれん療法なし」と回答した施設が 35 施設 (54.4%)、「麻酔科医師と修正型電気けいれん療法 (Modified-Electroconvulsive Therapy: 以下、m-ECT)」

が 74 施設 (29.8%)、「有けいれんのみ」が 21 施設 (8.5%)、「麻酔科経験のある医師と mECT」が 10 施設 (4.0%)、「mECT と有けいれん両方」「その他」が各々 3 施設 (1.2%)、「mECT 麻酔科医師と連携なし」が 2 施設 (0.8%) であった。

続いて精神科病院 188 施設中、「電気けいれん療法なし」と回答した施設が 118 施設 (62.8%)、「麻酔科医師と mECT」が 32 施設 (17.0%)、「有けいれんのみ」が 20 施設 (10.6%)、「麻酔科経験のある医師と mECT」が 10 施設 (5.3%)、「mECT と有けいれん両方」「その他」が各々 3 施設 (1.6%)、「mECT 麻酔科医師と連携なし」が 2 施設 (1.1%) であった。

総合病院精神科では、「麻酔科医師と mECT」と回答した施設が 60 施設中 42 施設 (70.0%)、「電気けいれん療法なし」が 17 施設 (28.3%)、「有けいれんのみ」が 1 施設 (1.7%)、「麻酔科経験のある医師と mECT」「mECT と有けいれん両方」「その他」「mECT 麻酔科医師と連携なし」が 0 施設 (0%) であった。

2) CPMS 登録機関の状況 (表 2)

精神科病院と総合病院精神科の合計 248 施設のうち、「CPMS 登録機関である」と回答した施設が 139 施設 (56.0%)、「CPMS 登録機関ではない」と回答した施設は 107 施設 (43.1%)、未回答が 2 施設 (0.8%) であった。

続いて精神科病院 188 施設のうち、「CPMS 登録機関である」と回答した施設は 100 施設 (53.2%)、「CPMS 登録機関ではない」と回答した施設は 88 施設 (46.8%)、未回答が 0 施設 (0%) であった。総合病院精神科 60 施設のうちでは、「CPMS 登録機関である」と回答した施設が 39 施設 (65.0%)、「CPMS 登録機関ではない」と回答した施設は 19 施設 (31.7%)、未回答が 2 施設 (3.3%) であった。

3) クロザピン治療の現状 (表 3)

精神科病院と総合病院精神科の合計 248 施

設のうち、「導入から行っている」と回答した施設が 121 施設 (48.8%)、「行っていない」と回答した施設は 113 施設 (45.6%)、「クロザピン継続例のみ対応」が 11 施設 (4.4%)、「その他」が 3 施設 (1.2%) であった。

続いて精神科病院 188 施設のうち、「行っていない」と回答した施設が 93 施設 (49.5%)、「導入から行っている」と回答した施設は 85 施設 (45.2%)、「クロザピン継続例のみ対応」が 9 施設 (4.8%)、「その他」が 1 施設 (0.5%) であった。総合病院精神科では、60 施設のうち「導入から行っている」と回答した施設が 36 施設 (60.0%)、「行っていない」と回答した施設は 20 施設 (33.3%)、「クロザピン継続例のみ対応」「その他」が各々 2 施設 (3.3%) であった。

4) 緩和ケアチームの設置状況 (表 4)

精神科病院と総合病院精神科の合計 248 施設のうち、「設置していない」と回答した施設が 186 施設 (75.0%)、「設置 診療実績あり」と回答した施設は 62 施設 (25.0%)、「設置しているが診療実績がない」「その他」は共に 0 施設 (0%) であった。

続いて精神科病院 188 施設のうち、「設置 診療実績あり」と回答した施設が 183 施設 (97.3%)、「設置していない」と回答した施設は 5 施設 (2.7%)、「設置しているが診療実績がない」「その他」は共に 0 施設 (0%) であった。総合病院精神科 60 施設のうちでは「設置 診療実績あり」と回答した施設が 57 施設 (95.0%)、「設置していない」と回答した施設は 3 施設 (5.0%)、「設置しているが診療実績がない」「その他」は共に 0 施設 (0%) であった。

2. 措置入院以外の患者の身体合併症への対応状況

措置入院以外の患者を受け入れている施設を分析の対象とし、回答が得られた全ての施設 (N=248) が該当した。

1) 身体合併症を有する精神疾患患者の入院の受け入れ要請時の対応(直近1年間を想定)
(表5)

精神科病院と総合病院精神科の合計248施設のうち、「症例により受け入れ」と回答した施設が189施設(76.2%)、「すべて受け入れ」が33施設(13.3%)、「受入れできなかった」が13施設(5.2%)、「直近1年間で受入れ要請されたことはない」が12施設(4.8%)、「未回答」が1施設(0.4%)、「わからない」が0施設(0%)であった。

続いて精神科病院188施設のうち、「症例により受け入れ」と回答した施設が54施設(81.9%)、「受入れできなかった」が13施設(6.9%)、「直近1年間で受入れ要請されたことはない」が12施設(6.4%)、「すべて受け入れ」が8施設(4.3%)、「未回答」が1施設(0.5%)、「わからない」が0施設(0%)であった。総合病院精神科60施設のうち、「症例により受け入れ」と回答した施設が60施設中35施設(58.3%)、「すべて受け入れ」が25施設(41.7%)、「受入れできなかった」、「直近1年間で受入れ要請されたことはない」、「未回答」、「わからない」はいずれも0施設(0%)であった。

2) 措置入院以外の精神疾患入院患者に身体合併症が生じた際の対応(直近1年間を想定)
<精神病床に入院を継続し、精神科医が対応したか否か>(表6)

精神科病院と総合病院精神科の合計248施設のうち、「あった」と回答した施設が215施設(86.7%)、「なかった」が28施設(11.3%)、「未回答」が5施設(2.0%)、「わからない」が0施設(0%)であった。
続いて精神科病院188施設のうち、「あった」と回答した施設が170施設(90.4%)、「なかった」が15施設(8.0%)、「未回答」が3施設(1.6%)、「わからない」が0施設(0%)であった。総合病院精神科では、「あった」と回答した施設が60施設中45施設(75.0%)、「な

かった」が13施設(21.7%)、「未回答」が2施設(3.3%)、「わからない」が0施設(0%)であった。

<精神病床に入院を継続して他科の医師が併診で対応したか否か>(表7)

精神科病院と総合病院精神科の合計248施設のうち、「あった」と回答した施設が99施設(80.2%)、「なかった」が44施設(17.7%)、「未回答」が5施設(2.0%)、「わからない」が0施設(0%)であった。

続いて精神科病院60施設のうち、「あった」と回答した施設が142施設(75.5%)、「なかった」が41施設(21.8%)、「未回答」が5施設(2.7%)、「わからない」が0施設(0%)であった。総合病院精神科では、「あった」と回答した施設が60施設中57施設(95.0%)、「なかった」が3施設(5.0%)、「未回答」、「わからない」が各々0施設(0%)であった。

<精神病床に入院を継続して通院で他科を受診したか否か>(表8)

精神科病院と総合病院精神科の合計248施設のうち、「あった」と回答した施設が185施設(74.6%)、「なかった」が56施設(22.6%)、「未回答」が6施設(2.4%)、「わからない」が1施設(0.4%)であった。

続いて精神科病院60施設のうち、「あった」と回答した施設が188施設中170施設(90.4%)、「なかった」が13施設(6.9%)、「未回答」が4施設(2.1%)、「わからない」が1施設(0.5%)であった。総合病院精神科60施設のうち、「なかった」と回答した施設が43施設(71.7%)、「あった」が15施設(25.0%)、「未回答」が2施設(3.3%)、「わからない」が0施設(0%)であった。

<貴施設の他科病棟に転棟したか否か>(表9)

精神科病院と総合病院精神科の合計248施設のうち、「なかった」と回答した施設が137施設(55.2%)、「あった」が101施設(40.7%)、「未回答」が9施設(3.6%)、「わからない」が1施設(0.4%)であった。

続いて精神科病院 60 施設のうち、「なかった」と回答した施設が 188 施設中 128 施設 (68.1%)、「あった」が 51 施設 (27.1%)、「未回答」が 8 施設 (4.3%)、「わからない」が 1 施設 (0.5%) であった。総合病院精神科 60 施設のうち、「あった」と回答した施設が 50 施設 (83.3%)、「なかった」が 9 施設 (15.0%)、「未回答」が 1 施設 (1.7%)、「わからない」が 0 施設 (0%) であった。

<他院に転院したか否か> (表 10)

精神科病院と総合病院精神科の合計 248 施設のうち、「あった」と回答した施設が 193 施設 (77.8%)、「なかった」が 48 施設 (19.4%)、「未回答」が 6 施設 (2.4%)、「わからない」が 1 施設 (0.4%) であった。

続いて精神科病院 188 施設のうち、「あった」と回答した施設が 177 施設 (94.1%)、「なかった」が 8 施設 (4.3%)、「未回答」が 3 施設 (1.6%)、「わからない」が 0 施設 (0%) であった。総合病院精神科 60 施設のうち、「なかった」と回答した施設が 60 施設中 40 施設 (66.7%)、「あった」が 16 施設 (26.7%)、「未回答」が 3 施設 (5.0%)、「わからない」が 1 施設 (1.7%) であった。

2) 措置入院以外の精神疾患入院患者が身体合併症となり転院が必要な場合の対応状況 (表 11)

精神科病院と総合病院の合計 248 施設のうち、「総合病院等との連携を行っているが病床は確保されていない」と回答した施設が 158 施設 (63.7%)、「貴施設は総合病院である」が 60 施設 (24.2%)、「総合病院等との連携を行っており、病床も確保されている」が 15 施設 (6.0%)、「総合病院等との連携を行っていない」が 11 施設 (4.4%)、「自治体の主管部署で調整をしているため、わからない」が 3 施設 (1.2%)、「無回答」が 1 施設 (0.4%) であった。

続いて精神科病院 188 施設のうち、「総合病院等との連携を行っているが病床は確保されていない」と回答した施設が 158 施設 (84.0%)、

「総合病院等との連携を行っており、病床も確保されている」が 15 施設 (8.0%)、「総合病院等との連携を行っていない」が 11 施設 (5.9%)、「自治体の主管部署で調整をしているため、わからない」が 3 施設 (1.6%)、「無回答」が 1 施設 (0.5%)、「貴施設は総合病院である」が 0 施設 (0%) であった。総合病院精神科 60 施設のうち、「貴施設は総合病院である」と回答した施設が 60 施設 (100%) であった。他の項目はすべて 0 施設 (0%) であった。

3) 措置入院以外の精神疾患入院患者における COVID-19 陽性例あるいは疑似例の発生状況 (表 12)

精神科病院と総合病院精神科の合計 248 施設のうち、「発生していないし他院からの受入れもしていない」と回答した施設が 150 施設 (60.5%)、「発生した」が 83 施設 (33.5%)、「発生していないが他院から受入れた」が 14 施設 (5.6%)「無回答」が 1 施設 (0.4%) であった。

続いて精神科病院 188 施設のうち、「発生していないし他院からの受入れもしていない」と回答した施設が 111 施設 (59.0%)、「発生した」が 68 施設 (36.2%)、「発生していないが他院から受入れた」が 8 施設 (4.3%)「無回答」が 1 施設 (0.5%) であった。総合病院精神科 60 施設のうち、「発生していないし他院からの受入れもしていない」と回答した施設が 60 施設中 39 施設 (65.0%)、「発生した」が 15 施設 (25.0%)、「発生していないが他院から受入れた」が 6 施設 (10.0%)「無回答」が 0 施設 (0%) であった。

4) 措置入院以外の精神疾患入院患者における他院から COVID-19 受け入れ要請時の受け入れ準備状況 (表 13)

本項では 4)において「発生していないし他院からの受入れもしていない」と回答した 150 施設を分析対象とした (アンケートにて

「発生していないし他院からの受入れもしていない」と回答したケースのみが本項に回答できる仕組みとなっている。「できていない」と回答した施設が 122 施設 (81.3%)、「できている」が 28 施設 (18.7%) であった。

続いて精神科病院 111 施設のうち、「できていない」と回答した施設が 101 施設 (91.0%)、「できている」が 10 施設 (9.0%) であった。総合病院精神科 39 施設のうち、「できていない」と回答した施設が 21 施設 (53.8%)、「できている」が 18 施設 (46.2%) であった。

3. 措置入院患者の身体合併症への対応状況

措置入院を受け入れている医療機関は 202 施設あり、内訳は精神科病院が 159 施設、総合病院精神科が 43 施設であった。

1) 身体合併症を有する措置入院患者の入院の受け入れ要請時の対応 (直近 1 年間の想定) (表 14)

精神科病院と総合病院精神科の合計 202 施設のうち、「症例により受け入れ」「直近 1 年間で受け入れ要請されたことはない」と回答した施設が各々 78 施設 (38.6%)、「すべて受け入れ」が 35 施設 (17.3%)、「受け入れできなかった」が 9 施設 (4.5%)、「未回答」「わからない」が各々 1 施設 (0.5%) であった。

続いて精神科病院 159 施設のうち、「症例により受け入れ」と回答した施設が 67 施設 (42.1%)、「直近 1 年間で受け入れ要請されたことはない」が 64 施設 (40.3%)、「すべて受け入れ」が 18 施設 (11.3%)、「受け入れできなかった」が 9 施設 (5.7%)、「未回答」が 1 施設 (0.6%)、「わからない」が 0 施設 (0%) であった。総合病院精神科 43 施設のうち、「すべて受け入れ」と回答した施設が 17 施設 (39.5%)、「直近 1 年間で受け入れ要請されたことはない」が 14 施設 (32.6%)、「症例により受け入れ」11 施設 (25.6%)、「わからない」が 1 施設 (2.3%)、「受け入れできなかった」、

「未回答」はいずれも 0 施設 (0%) であった。

2) 措置入院患者に身体合併症が生じた際の対応 (直近 1 年間の想定)

<措置入院のまま入院を継続し、精神科医が対応したか否か> (表 15)

精神科病院と総合病院精神科の合計 202 施設のうち、「なかった」と回答した施設が 97 施設 (39.1%)、「あった」が 96 施設 (38.7%)、「未回答」が 6 施設 (2.4%)、「わからない」が 3 施設 (1.2%) であった。

続いて精神科病院では、「あった」と回答した施設が 159 施設中 81 施設 (50.9%)、「なかった」が 71 施設 (44.7%)、「未回答」が 5 施設 (3.1%)、「わからない」が 2 施設 (1.3%) であった。総合病院精神科 43 施設のうち、「なかった」と回答した施設が 26 施設 (60.5%)、「あった」が 15 施設 (34.9%)、「未回答」「わからない」が各々 1 施設 (2.3%) であった。<措置入院のまま入院を継続し、他科の医師が併診で対応したか否か> (表 16)

精神科病院と総合病院精神科の合計 202 施設のうち、「あった」と回答した施設が 102 施設 (41.1%)、「なかった」が 93 施設 (37.5%)、「わからない」が 4 施設 (1.6%)、「未回答」が 3 施設 (1.2%) であった。

続いて精神科病院 159 施設のうち、「なかった」と回答した施設が 159 施設中 79 施設 (49.7%)、「あった」が 74 施設 (46.5%)、「わからない」が 4 施設 (2.5%)、「未回答」が 2 施設 (1.3%) であった。総合病院精神科 43 施設のうち、「あった」と回答した施設が 43 施設中 28 施設 (65.1%)、「なかった」が 14 施設 (32.6%)、「未回答」が 1 施設 (2.3%)、「わからない」が 0 施設 (0%) であった。

<措置入院のまま入院を継続し、通院で他科を受診したか否か> (表 17)

精神科病院と総合病院精神科の合計 202 施設のうち、「なかった」と回答した施設が 153 施設 (61.7%)、「あった」が 41 施設 (16.5%)、「未回答」が 7 施設 (2.8%)、「わからない」

が1施設(0.4%)であった。

続いて精神科病院159施設のうち、「なかった」と回答した施設が159施設中114施設(71.7%)、「あった」が38施設(23.9%)、「未回答」が6施設(3.8%)、「わからない」が1施設(0.6%)であった。総合病院精神科43施設のうち、「なかった」と回答した施設が39施設(90.7%)、「あった」が3施設(7.0%)、「未回答」が1施設(2.3%)、「わからない」が0施設(0%)であった。

<措置入院のまま、他院に転院したか否か>
(表18)

精神科病院と総合病院精神科の合計202施設のうち、「なかった」と回答した施設が157施設(63.3%)、「あった」が37施設(14.9%)、「未回答」が7施設(2.8%)、「わからない」が1施設(0.4%)であった。

続いて精神科病院159施設のうち、「なかった」と回答した施設が117施設(73.6%)、「あった」が35施設(22.0%)、「未回答」が6施設(3.8%)、「わからない」が1施設(0.6%)であった。総合病院精神科43施設のうち、「なかった」と回答した施設が40施設(93.0%)、「あった」が2施設(4.7%)、「未回答」が1施設(2.3%)、「わからない」が0施設(0%)であった。

<措置入院を仮退院として他院一般病棟に転院したか否か> (表19)

精神科病院と総合病院精神科の合計202施設のうち、「なかった」と回答した施設が172施設(69.4%)、「あった」が19施設(7.7%)、「未回答」が8施設(3.2%)、「わからない」が3施設(1.2%)であった。

続いて精神科病院159施設のうち、「なかった」と回答した施設が133施設(83.6%)、「あった」が17施設(10.7%)、「未回答」が7施設(4.4%)、「わからない」が2施設(1.3%)であった。総合病院精神科43施設のうち、「なかった」と回答した施設が39施設(90.7%)、「あった」が2施設(4.7%)、「未回答」「わからない」が各々1施設(2.3%)であった。

<措置解除し、貴施設の他科病棟に転棟したか否か> (表20)

精神科病院と総合病院精神科の合計202施設のうち、「なかった」と回答した施設が184施設(74.2%)、「あった」が8施設(3.2%)、「未回答」が7施設(2.8%)、「わからない」が3施設(1.2%)であった。

続いて精神科病院159施設のうち、「なかった」と回答した施設が146施設(91.8%)、「あった」が5施設(3.1%)、「未回答」が6施設(3.8%)、「わからない」が2施設(1.3%)であった。総合病院精神科43施設のうち、「なかった」と回答した施設が38施設(88.4%)、「あった」が3施設(7.0%)、「未回答」「わからない」が各々1施設(2.3%)であった。

<措置解除し、他院に転院したか否か> (表21)

精神科病院と総合病院精神科の合計202施設のうち、「なかった」と回答した施設が167施設(67.3%)、「あった」が28施設(11.3%)、「未回答」が5施設(2.0%)、「わからない」が2施設(0.8%)であった。

続いて精神科病院159施設のうち、「なかった」と回答した施設が128施設(80.5%)、「あった」が25施設(15.7%)、「未回答」が4施設(2.5%)、「わからない」が2施設(1.3%)であった。総合病院43施設のうち、「なかった」と回答した施設が39施設(90.7%)、「あった」が3施設(7.0%)、「未回答」が1施設(2.3%)「わからない」が0施設(0%)であった。

3) 措置入院患者が身体合併症となり転院が必要な場合の対応状況 (表22)

精神科病院と総合病院精神科の合計202施設のうち、「総合病院等との連携を行っているが病床は確保されていない」と回答した施設が105施設(52.0%)、「貴施設は総合病院である」が43施設(21.3%)、「自治体の主管部署で調整をしているため、わからない」が20施設(9.9%)、「総合病院等との連携を行って

いない」が 17 施設 (8.4%)、「総合病院等との連携を行っており、病床も確保されている」が 10 施設 (5.0%)、「そのほかの理由でわからない」が 5 施設 (2.5%)、「無回答」が 2 施設 (1.0%) であった。

続いて精神科病院 159 施設のうち、「総合病院等との連携を行っているが病床は確保されていない」と回答した施設が 105 施設 (66.0%)、「自治体の主管部署で調整をしているため、わからない」が 19 施設 (11.9%)、「総合病院等との連携を行っていない」が 17 施設 (10.7%)、「総合病院等との連携を行っており、病床も確保されている」が 10 施設 (6.3%)、「その他の理由でわからない」が 5 施設 (3.1%)、「無回答」が 2 施設 (1.3%)、「貴施設は総合病院である」が 1 施設 (0.6%) であった。総合病院精神科 43 施設のうち、「貴施設は総合病院である」と回答した施設が 42 施設 (97.7%)、「自治体の主管部署で調整をしているため、わからない」が 1 施設 (2.3%)、他の項目はすべて 0 施設 (0%) であった。

D. 考察

他科との協働を要する精神科医療の現状については、ECT に関しては、精神科病院において 6 割強は施行していない一方で 2 割弱麻酔科医師と mECT を行っていた。総合においては 3 割弱が施行していない一方で 7 割弱麻酔科医師と mECT を行っていた。

CPMS 登録医療機関に関しては、本調査によると、半数強が CPMS 登録機関であることが示されている。しかしながら、クロザリルを処方できる医療機関は限られており、実際にどの程度なのかは改めて算出する必要がある。クロザピン治療実態においても同様の処理が必要と考えられる。

緩和ケアチームに関しては、医療機関の 25%は設置していると回答しており、ニーズが高まっている可能性が示唆された。

②-措置入院以外の患者の身体合併症への対応状況/措置入院患者の身体合併症への対応

状況

身体合併症に関しては、その対応に関する医療機関の経験を問うている。非措置入院ならびに措置入院例に対してほぼ同じ項目でアンケートを行った。双方の入院例において身体合併症が生じた際の受け入れ要請対応に関して、「症例により受入れ」と回答したのは前者で 8 割弱であったのに対して後者は 4 割弱まで落ち込んだ。精神科病院・総合病院精神科別でも同様の傾向がみられており、身体合併症を有する措置入院例の受け入れ要請時の対応は消極的であることが浮き彫りになった。

引き続き双方の入院例において、身体合併症が生じた際の対応について検討を行った。非措置入院例では精神科病院・総合病院精神科別にみても精神科病床に入院を継続する例が多かった一方で、措置入院例では逆に半数前後にとどまる傾向がみられた。他科転棟については非措置入院例では「なかった」が多く、措置入院例においても措置解除して他科転棟は少なかった。他院転院については非措置入院例では「あった」が多数を占めている一方で、措置入院例では「なかった」例が多数で、「措置入院を仮退院として他院一般病棟に転院する」例も同様の傾向であった。

特に措置入院例に関しては精神症状の重症度を鑑みてか、他科への転棟・他院受診、転院例は少ない印象であったが、見方を変えると 1 割前後はあり、身体合併症を有する措置入院例に対する精神科以外での対応フローを強化すべきであることが明らかとなった。非措置入院例においては自施設で何らかの対応をしているケースが多く、COVID-19 対応についても同様の傾向であった。他院からの受け入れ要請に対する準備は非措置入院例においても不十分で、先行研究¹²⁾(措置入院例)においても同様の傾向が示された。先行研究¹²⁾において、精神科医療施設の感染対策の脆弱さが指摘されていたが、非措置入院例においても同じ理由であることが推測される。

双方の入院例において精神疾患患者が身体

合併症となり転院が必要と判断された場合の総合病院等との連携に関する質問であるが、非措置入院例に関して何らかの連携体制はみられるものの、その一部に「まったく連携がとれていない」と回答する施設もあり、このようなケースでの医療施設への転院フローを改めて考慮する必要性があると考えられる。特に精神科病院に入院している措置入院患者が身体合併症を生じた際、ケースによっては精神症状ならびに身体疾患が重度で可及的速やかに転院を要する場合もあり、対応整備を行う事が喫緊の課題といえる。

E.健康危険情報

なし

F.研究発表

- 1.論文発表 準備中
- 2.学会発表 準備中

G. 知的財産権の出願・登録状況

- 1.特許取得 なし
- 2.実用新案登録 なし
- 3.その他

文献

- 1) 小口芳世, 小池純子, 瀬戸秀文, 稲垣中, 島田達洋, 藤井千代: 措置入院患者がCOVID-19 陽性・疑似例となった場合の受け入れ体制の現状 (その1) 臨床指標的側面の検討. 臨床精神医学 50 (10) , 1091-1098, 2021
- 2) 小池純子, 中西清晃, 小口芳世, 瀬戸秀文, 稲垣中, 藤井千代: 措置入院患者がCOVID-19 陽性・疑似例となった場合の受け入れ体制の現状 (その2) 質的分析をもとにした現状と課題 50 (10) , 1099-1107, 2021

表 1 電気けいれん療法の施行状況

		麻酔科医師と m-ECT	麻酔科経験のあ る医師とm-ECT	m-ECT麻酔科 医師と連携なし	m-ECT・有けいれん 両方	有けいれんのみ	電気けいれん 療法なし	その他	合計
精神科病院	n	32	10	2	3	20	118	3	188
	%	17.0%	5.3%	1.1%	1.6%	10.6%	62.8%	1.6%	100.0%
総合病院精神科	n	42	0	0	0	1	17	0	60
	%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	28.3%	0.0%	100.0%
合計	n	74	10	2	3	21	135	3	248
	%	29.8%	4.0%	0.8%	1.2%	8.5%	54.4%	1.2%	100.0%

表 2 CPMS 登録機関の状況

		CPMS登録機関 である	CPMS登録機関 ではない	未回答	合計
精神科病院	n	100	88	0	188
	%	53.2%	46.8%	0.0%	100.0%
総合病院精神科	n	39	19	2	60
	%	65.0%	31.7%	3.3%	100.0%
合計	n	139	107	2	248
	%	56.0%	43.1%	0.8%	

表 3 クロザピン治療の現状

		導入から行っ ている	CZP継続例 のみ対応	行っていない	その他	合計
精神科病院	n	85	9	93	1	188
	%	45.2%	4.8%	49.5%	0.5%	100.0%
総合病院精神科	n	36	2	20	2	60
	%	60.0%	3.3%	33.3%	3.3%	100.0%
合計	n	121	11	113	3	248
	%	48.8%	4.4%	45.6%	1.2%	100.0%

表 4 緩和ケアチームの設置状況

		設置、診療実績あり	設置しているが 診療実績なし	設置していない	その他	合計
精神科病院	n	5	0	183	0	188
	%	2.7%	0.0%	97.3%	0.0%	100.0%
総合病院精神科	n	57	0	3	0	60
	%	95.0%	0.0%	5.0%	0.0%	100.0%
合計	n	62	0	186	0	248
	%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	100.0%

表 5 身体合併症を有する精神疾患患者の入院の受け入れ要請時の対応（直近 1 年間を想定）

		すべて受入れ	症例により受入れ	受入れできなかった	直近1年で受入要請 されたことはない	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	8	154	13	12	0	1	188
	%	4.3%	81.9%	6.9%	6.4%	0.0%	0.5%	100.0%
総合病院精神科	n	25	35	0	0	0	0	60
	%	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	n	33	189	13	12	0	1	248
	%	13.3%	76.2%	5.2%	4.8%	0.0%	0.4%	100.0%

表 6 措置入院以外の精神疾患入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定） - 精神病床に入院を継続し、精神科医が対応したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	170	15	0	3	188
	%	90.4%	8.0%	0.0%	1.6%	100.0%
総合病院精神科	n	45	13	0	2	60
	%	75.0%	21.7%	0.0%	3.3%	100.0%
合計	n	215	28	0	5	248
	%	86.7%	11.3%	0.0%	2.0%	100.0%

表 7 措置入院以外の精神疾患入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定） - 精神病床に入院を継続して他科の医師が併診で対応したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	142	41	0	5	188
	%	75.5%	21.8%	0.0%	2.7%	100.0%
総合病院精神科	n	57	3	0	0	60
	%	95.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	n	199	44	0	5	248
	%	80.2%	17.7%	0.0%	2.0%	100.0%

表 8 措置入院以外の精神疾患入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定） - 精神病床に入院を継続して通院で他科を受診したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	170	13	1	4	188
	%	90.4%	6.9%	0.5%	2.1%	100.0%
総合病院精神科	n	15	43	0	2	60
	%	25.0%	71.7%	0.0%	3.3%	100.0%
合計	n	185	56	1	6	248
	%	74.6%	22.6%	0.4%	2.4%	100.0%

表 9 措置入院以外の精神疾患入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間で想定） - 貴施設の他科病棟に転棟したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	51	128	1	8	188
	%	27.1%	68.1%	0.5%	4.3%	100.0%
総合病院精神科	n	50	9	0	1	60
	%	83.3%	15.0%	0.0%	1.7%	100.0%
合計	n	101	137	1	9	248
	%	40.7%	55.2%	0.4%	3.6%	100.0%

表 10 措置入院以外の精神疾患入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間で想定） - 他院に転院したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	177	8	0	3	188
	%	94.1%	4.3%	0.0%	1.6%	100.0%
総合病院精神科	n	16	40	1	3	60
	%	26.7%	66.7%	1.7%	5.0%	100.0%
合計	n	193	48	1	6	248
	%	77.8%	19.4%	0.4%	2.4%	100.0%

表 11 措置入院以外の精神疾患入院患者が身体合併症となり転院が必要な場合の対応状況

		連携なし	連携あり_ 病床なし	連携あり_ 病床あり	自治体調整	総合病院	無回答	合計
精神科病院	n	11	158	15	3	0	1	188
	%	5.9%	84.0%	8.0%	1.6%	0.0%	0.5%	100.0%
総合病院精神科	n	0	0	0	0	60	0	60
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
合計	n	11	158	15	3	60	1	248
	%	4.4%	63.7%	6.0%	1.2%	24.2%	0.4%	100.0%

表 12 措置入院以外の精神疾患入院患者における COVID-19 陽性例あるいは疑似例の発生状況

		発生した	発生なし_ 他院から受け入れ	発生なし_ 受け入れなし	無回答	合計
精神科病院	n	68	8	111	1	188
	%	36.2%	4.3%	59.0%	0.5%	100.0%
総合病院精神科	n	15	6	39	0	60
	%	25.0%	10.0%	65.0%	0.0%	100.0%
合計	n	83	14	150	1	248
	%	33.5%	5.6%	60.5%	0.4%	100.0%

表 13 措置入院以外の精神疾患入院患者における他院から COVID-19 受け入れ要請時の受け入れ準備状況

		できている	できていない	合計
精神科病院	n	10	101	111
	%	9.0%	91.0%	100.0%
総合病院精神	n	18	21	39
	%	46.2%	53.8%	100.0%
合計	n	28	122	150
	%	18.7%	81.3%	100.0%

表 14 身体合併症を有する措置入院患者の入院の受け入れ要請時の対応（直近 1 年間を想定）

		すべて受入れ	症例により受入れ	受入れできなかった	直近1年で受入要 請されたことはない	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	18	67	9	64	0	1	159
	%	11.3%	42.1%	5.7%	40.3%	0.0%	0.6%	100.0%
総合病院精神	n	17	11	0	14	1	0	43
	%	39.5%	25.6%	0.0%	32.6%	2.3%	0.0%	100.0%
合計	n	35	78	9	78	1	1	202
	%	17.3%	38.6%	4.5%	38.6%	0.5%	0.5%	100.0%

表 15 措置入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定）-措置入院のまま入院を継続し、精神科医が対応したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	81	71	2	5	159
	%	50.9%	44.7%	1.3%	3.1%	100.0%
総合病院精神科	n	15	26	1	1	43
	%	34.9%	60.5%	2.3%	2.3%	100.0%
合計	n	96	97	3	6	202
	%	38.7%	39.1%	1.2%	2.4%	100.0%

表 16 措置入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定）-措置入院のまま入院を継続し、他科の医師が併診で対応したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	74	79	4	2	159
	%	46.5%	49.7%	2.5%	1.3%	100.0%
総合病院精神科	n	28	14	0	1	43
	%	65.1%	32.6%	0.0%	2.3%	100.0%
合計	n	102	93	4	3	202
	%	41.1%	37.5%	1.6%	1.2%	100.0%

表 17 措置入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定）-措置入院のまま入院を継続し、通院で他科を受診したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	38	114	1	6	159
	%	23.9%	71.7%	0.6%	3.8%	100.0%
総合病院精神科	n	3	39	0	1	43
	%	7.0%	90.7%	0.0%	2.3%	100.0%
合計	n	41	153	1	7	202
	%	16.5%	61.7%	0.4%	2.8%	100.0%

表 18 措置入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定）-措置入院のまま、他院に転院したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	35	117	1	6	159
	%	22.0%	73.6%	0.6%	3.8%	100.0%
総合病院精神科	n	2	40	0	1	43
	%	4.7%	93.0%	0.0%	2.3%	100.0%
合計	n	37	157	1	7	202
	%	14.9%	63.3%	0.4%	2.8%	100.0%

表 19 措置入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定）-措置入院を仮退院として他院一般病棟に転院したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	17	133	2	7	159
	%	10.7%	83.6%	1.3%	4.4%	100.0%
総合病院精神科	n	2	39	1	1	43
	%	4.7%	90.7%	2.3%	2.3%	100.0%
合計	n	19	172	3	8	202
	%	7.7%	69.4%	1.2%	3.2%	100.0%

表 20 措置入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定）-措置解除し、貴施設の外科病棟に転棟したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	5	146	2	6	159
	%	3.1%	91.8%	1.3%	3.8%	100.0%
総合病院精神科	n	3	38	1	1	43
	%	7.0%	88.4%	2.3%	2.3%	100.0%
合計	n	8	184	3	7	202
	%	3.2%	74.2%	1.2%	2.8%	100.0%

表 21 措置入院患者に身体合併症が生じた際の対応（直近 1 年間を想定）-措置解除し、他院に転院したか否か-

		あった	なかった	分からない	未回答	合計
精神科病院	n	25	128	2	4	159
	%	15.7%	80.5%	1.3%	2.5%	100.0%
総合病院精神科	n	3	39	0	1	43
	%	7.0%	90.7%	0.0%	2.3%	100.0%
合計	n	28	167	2	5	202
	%	11.3%	67.3%	0.8%	2.0%	100.0%

表 22 措置入院患者が身体合併症となり転院が必要な場合の対応状況

		連携なし	連携あり_ 病床なし	連携あり_ 病床あり	自治体調整	その他の理由で わからない	総合病院	無回答	合計
精神科病院	n	17	105	10	19	5	1	2	159
	%	10.7%	66.0%	6.3%	11.9%	3.1%	0.6%	1.3%	100.0%
総合病院精神科	n	0	0	0	1	0	42	0	43
	%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	97.7%	0.0%	100.0%
合計	n	17	105	10	20	5	43	2	202
	%	8.4%	52.0%	5.0%	9.9%	2.5%	21.3%	1.0%	100.0%